



6月5日 松ヶ原こども館の親子を対象に、人権擁護委員の皆さんが人形劇を演じました。演目は童話で有名な「おおきなかぶ」。畑にできた大きなかぶは、おじいさん一人では抜くことができません。松ヶ原自治会長さんの人形や人権啓発キャラクターも登場。子どもたちと一緒に「うんとこっこいしょ」と掛け声を合わせ、見事抜けました。みんなで協力することの大切さを学びました。



6月11日 薬物乱用防止の啓発活動が大竹駅前で行われ、大竹警察署、大竹高校生徒会、少年補導協働員連絡協議会、更生保護女性会の皆さんが、通学通学客にチラシなど400セットを配り薬物乱用防止を訴えました。啓発活動を終え、生徒会長の野村輝くん(2年)は、最近の芸能界の薬物使用問題を踏まえ「自分たちは薬物ダメ絶対を広めていける立場でありたい」と決意を述べました。



6月12日 クイズ形式で広島広域都市圏の魅力を発信する番組「野々村真の広島!魅力発見」のロケが行われ、タレントの野々村真さんが晴海臨海公園にやってきました。番組では大型複合遊具「ロポボファクトリー」が紹介されます。遊具で遊ぶ子どもたちに気さくに声を掛ける野々村さんの人柄がしのべれます。番組は7月6日(土)21時54分からRCCテレビで放送予定です。



6月15日 大竹市出身でニューヨークで、ダンサー、俳優として活躍中の三宅由利子さんの「トークショー&パフォーマンス」が、玖波公民館で催されました。アメリカの大学に留学、その後ダンサーとして活動する中での異文化体験など、興味深い話に約200人の観客は耳を傾けます。歌とダンスも披露され、迫力あるパフォーマンスに、観客は魅了されたようです。

6/2
SUN



1 松ヶ原に移住した西本さん一家。3年前は長女の美矢子ちゃん(3歳) 今頃は長男の清矢くん(8カ月)の誕生を記念して植樹。
2 三倉岳県立自然公園協議会の皆さんは、植樹のお手伝い。3 植えたモミジをうれしそうに見つめる小野真凜ちゃん(1歳) 御園1-4 植樹の後のじゃんけん大会で地元産の野菜などの賞品をゲット。



緑いっぱい、山の空気を吸い込んで

マロンの里・三倉岳県立自然公園

f 「山に親しむ、山を楽しむ、山に学ぶ」をテーマに「ひろしま山の日県民のつどいin大竹」が開催され、およそ1600人が、初夏の栗谷の一日を楽しみました。

マロンの里の広場周辺では、しいたけ菌打ち体験、手すき和紙体験、木工体験などが人気の的です。

マガジンラック作りに取り組む古泉佑盛くん(大竹小3年)は、「初めてのこぎりを使ったけど難しい」と真剣なまなざし。樹木に登るツリークライミングに挑戦した堀田玲獅くん(玖波小2年)。最初は苦戦していたものの、すぐにコツをつかんでスルスルと登り「高いところは気持ちいい」と、ご満悦の様子。

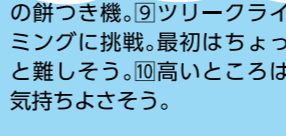
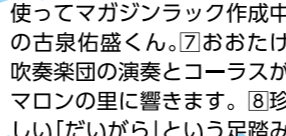
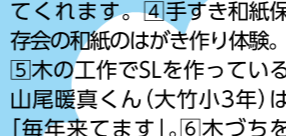
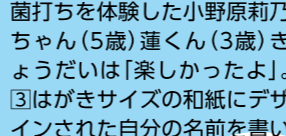
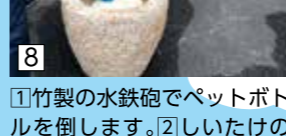
三倉岳のふもとでは、子どもの健やかな成長を願って、モミジの植樹が行われ、10家族38人が参加。3年前、岩国市から松ヶ原に移り住んだ西本愛弓さんは、「大竹に根差したい」という思いを込めて植えました。

6/1
SAT



1 80歳で自分の歯が20本以上ある「8020」を達成した方たち。にっこり笑顔です。2 3歳児の親子で丈夫な歯。「はつらつ家族」表彰。

f のついているものは、これ以外の写真も大竹市公式フェイスブックで見ることができます。



▲歯の健康チェック。虫歯は無かったかな。

健康はいい歯から
総合市民会館
f 今年で10回目となった「よく噛める8020達成者表彰式」。40人の受賞者のうち29人が参加し、表彰を受け、80歳になっても自分の歯で噛める喜びを噛みしめていました。
また、午後からは、「子どもの歯を守るつどい」が開催され、259人の子どもが参加し、歯磨きの仕方などを学びました。
森田夏菜子さん(東栄1)は、歩珠ちゃん(5歳)たち3人を連れて参加。「毎年来ています。子どもたちが歯の大切さを分かるきっかけになってもらえれば」と話してくれました。